



静岡県教育委員会  
教育広報紙

自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

# Eジャーナルしずおか

平成31年(2019年)  
1月7日  
月曜日  
第207号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3674 FAX 054-221-3561 E-mail kyoui\_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

## 新春を迎えて 静岡県教育委員会 教育長 木苗直秀

皆様にはお元気で新春をお迎えのことでしょう。昨年日本列島は猛暑に見舞われ、さらに台風や豪雨などの自然災害による被害もありました。一方、平昌五輪やサッカーW杯、そして本県を含め東海地域で開催された全国高校総体などのスポーツは私たちに大きな感動を与えてくれました。

さて、急速に進むグローバル化や情報化は教育現場にも大きな影響をもたらしております。ICTやAIを用いた教育が積極的に進められております。さらに小学校では英語教育が始まります。静岡県が目指す「有徳の人」づくりでは「自らの資質・能力を伸長し、個人として自立した人」、「多様な生き方や価値観を認め、人との関わり合いを大切に人」、「社会の一員として、よりよい社会づくりに参画し、行動する人」を目指しており、文武芸三道の鼎立(ていりつ)がさらに加速していくこととなります。今年も本県では学校、家庭、地域が一丸となって次世代にローカルに、グローバルに活躍する人材の育成を積極的に進めてまいりますのでご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

そして9月には、いよいよラグビーワールドカップが袋井市のエコパスタジアムで開催されます。来年の東京オリンピック・パラリンピックでは伊豆ペドロームなどで自転車競技が行われます。皆様にはご家族で、これらスポーツの祭典に積極的にご参加いただき、国内外の方々との交流を図られることを期待しております。



木苗直秀 教育長

## 授業でICTを積極的に活用しよう! ~新学習指導要領実施に向けて~

### どうしてICTを使うの?

新学習指導要領では、主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善が求められています。このような授業を実現していく中で、アクティブ・ラーニングとICT活用は相性が良いといわれています。ICTを効果的に活用することで、子どもたちの主体的・対話的な活動が生まれ、より理解を深める授業を行うことができます。活用にあたり気を付けてほしいことは、ICTは授業のねらいを達成するための一つのツールであることです。使えば必ず効果があるわけではありません。ICTを活用する際は「なぜ使うのか」、目的をしっかりと考えた上でタイミングよく活用しましょう!

### ICT機器の整備はこの先どうなりますか?

新学習指導要領の総則には、「各学校において、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するために必要な環境を整え、これらを適切に活用した学習活動の充実を図ること」と明記されました。

県教育委員会では、下表に示すICT機器を平成30年度から4年間をかけて、全県立学校に整備していきます。

各市町教育委員会が所管する小・中学校においても、今後順次、整備が進んでいきます。現状では十分な環境が整っていない学校もありますが、今ある環境で準備を始めていきましょう!

区分	整備内容	整備規模
高等学校	プロジェクター	全普通教室に設置
	タブレット端末	40台(16クラス以上は80台)
	無線LAN	3クラスに1台
特別支援学校	プロジェクター	学年1台(小規模校は学部1台)
	タブレット端末	8台
	無線LAN	各校1台
整備対象校	ICT支援員	整備翌年度に年5回程度



左 タブレット端末を使って意見交換している様子



右 普通教室に設置されたプロジェクターから黒板に投影している様子

ICTを活用して  
より良い授業にしたい!



### 実際、授業ではどう使うの?

ICTを活用した授業の具体的なイメージが思い浮かばない方には、実際にICTを活用した授業の参観をお勧めします。

県教育委員会では、平成28年度から、ICTを活用した公開授業を実施しています。平成30年度は県立学校10校で開催しました。教材や資料を「大きく映す」基本的な活用から、児童生徒による活用まで、幅広くバリエーションに富んだ授業が実践され、参加者からは「とても参考になった」、「ぜひ自分の授業にも取り入れたい」といった感想が多くありました。公開授業は来年度以降も継続していく予定です。多くの方々の参加をお待ちしています。

#### 【活用事例の紹介】

化学基礎  
- 実験の様子を動画撮影・スロー再生や一時停止機能を使いながら繰り返し再生することで、一瞬の変化の様子を全員で確認することができます。  
(掛川西高校)



試験管に入った液体が変化の様子を観察

総合教育センターHPの「授業づくりデータベース」に活用事例集を掲載しています。

【教育政策課情報化推進室】

## 静岡県教育委員会 新委員の紹介

静岡県教育委員の齊藤行雄氏は平成30年11月30日をもって退任し、後任として小野澤宏時氏が就任しました。任期は平成30年12月21日から4年間です。

おのざわひろとき  
小野澤 宏時氏

元ラグビー日本代表

清水エスパルス  
アスレティックアドバイザー

## 東部特別支援学校が新校舎に移転しました!

東部特別支援学校(伊豆の国市寺家)の新校舎が平成30年9月に完成し、子どもたちの新しい校舎での学習が始まりました。

東部特別支援学校には、車椅子や歩行器等を使って生活する児童生徒が多く学んでいます。肢体不自由のある児童や生徒にとって、より安全・安心な学習環境となっています。

### ◆新校舎移転による学習環境の改善

	旧校舎	新校舎
廊下	全体的に暗い	明るく、大型車椅子のすれ違いも可能
上下移動	エレベーターなし、スロープ	スロープ・エレベーター完備
トイレ	せまくて暗い、一部和式	洋式・バリアフリー対応
プール	組立て式簡易プールを使用	大小プール完備
中庭	なし	教室前に設置、休み時間の外での交流が容易・活発化
給食	業者が学校へ配送	自校給食
	食堂がなく、教室で喫食	食堂完備



新校舎落成記念式典で代表のあいさつをする児童生徒

- ・「新しい学校の中できれいな体育館が一番好きです」(小学部児童)
- ・「新校舎になって、中庭や広い駐車場、エレベーターなど、みんなが使えて便利だと思った」(中学部生徒)
- ・「行事や学校のホームページなどを通して、同世代の学生や地域の方々に、学校や私たちのことを知ってもらい『交流が盛んな学校』にしていきたい」(高等部生徒)

【特別支援教育課】

実践NOTE 411

# 栄養教諭の 取り組み

伊豆の国市立長岡中学校 栄養教諭 高木 由美子

私は県東部にある伊豆長岡学校給食センターに勤務しており、幼稚園、小学校、中学校合わせて1300食の給食を調理員15人と作っています。現在、県内の各市町に栄養教諭が配置されていますが、5年前に伊豆の国市に赴任した時は市内に1人も配置されておらず、私が市で最初の栄養教諭でした。そこで、食育事業を充実させることを目的に、先生方にご指導いただきながら市内統一授業を考えました。



1日に必要な野菜の量を説明している様子(筆者)

## 元気な大人になるために自分の食生活を見直そう

小学校4年生を対象とした授業では、栄養教諭と学校栄養職員による紙芝居の読み聞かせと実験を行いました。実験では、1日に必要な野菜の量を量ったり、カップラーメンの中に含まれている塩分を塩分



紙芝居を読んでいる様子

## 朝ごはんについて考えよう

市内の児童生徒のほとんどは朝ごはんを食べていますが、3色食品群(赤・黄・緑)がそろった朝ごはんを食べている割合は低いのです。そこで、バランスの良い朝ごはん



栄養バランスの良い朝ごはんについて説明

## 意識していること

栄養教諭として大切にしていることの一つに、安全でおいしい給食を学校に届けることがあげられます。そのために、私は調理員とのコミュニケーションを大切にしようと思

っています。食物アレルギー対応では、複数の目で問題がないか確認しています。調理作業中に「あれっ?」と気になることがあれば曖昧にせず、調理

員と話し合います。1件の重大な事故には300件のヒヤリハットがあるというハイインリットヒの法則を常に意識し、重大な問題につながらないよう小さな問題もきちんと確認するよう努めています。



生徒が考えた朝ごはんを友達に伝え合う

## 給食を充実させるために

毎日の給食を生きた教材として活用するために、給食の時間を大切にしていきます。そこで私は毎日各クラスにランチタイムというお便りを配布しています。内容は食材の栄養や旬、郷土料理などについてです。ランチタイムを通して伝えたいメッセージを込めています。

田方地区は昔から手作り給食を大切に、地場産物を活用した給食を各学校に出しています。特色ある給食を生かし、これからも田方地区全体で食育を充実させ、未来を担う子どもたちの健康を支えていきたいです。

**ランチタイム**  
平成30年11月21日(中)

11月24日は、「いいはんにして、いい給食を食べて、いい生活を送りたい」という思いを込めて、和食の味わいや、食の大切さを伝えるために、「だし」をテーマにした給食です。だしは、食材の旨味を引き出し、料理の味を深めます。だしを上手に使うことで、おいしく、健康的な給食を作ることができます。今回は、だしをテーマにした給食です。だしを上手に使うことで、おいしく、健康的な給食を作ることができます。

ランチタイムでのメッセージ

実践NOTE 412

# 信頼関係を 育む保育を目指して

静岡市立有度西子ども園 副主任保育教諭 岡村 真子

平成30年の春から本園に赴任し、0歳児クラス3人の担任となりました。4月、子どもたちは初めて保護者から離れる生活になり、泣きながら登園してきました。そこで、保護者に家庭での生活習慣を聞きながら、信頼関係を築き、園生活を心地良く過ごすことができるよう、心掛けてきました。また、子どもたちの思いを表情や仕草から読み取り、その思いに共感すること



筆者



クレバスとの出会い



はいはいして通り抜け満足そう

## 子どもの思いを見逃さずに共感する

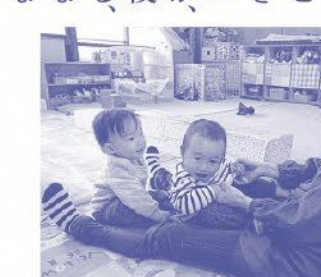
日々の園生活の中で、子どもたちは生まれて初めてさまざまな素材に遭遇します。その時どんな思いを抱くのだろうか。それを知りたくて、子どもたちをじっくり見ていくことがあります。初

## 安心感から生まれる主体性

小さくても自分の意思がある子どもたち。保育室を分けるための仕切り、自分で行き来できる喜びを味わえるようにしてみました。この入り口にカ

## 言葉にならない思いの大切さ

公開保育の日、A君がカーテンの方へ向かった。カーテンの陰に姿を隠し、声を掛けました。すると、A君は思いもよらず泣き出したのです。朝はニコニコ笑顔のA君でしたが、実は公開保育という普段と異なる環境に緊張し、急に保育者の姿が見えなくな



お膝のってわらべ歌♪うまはとしとし♪



カーテンの陰から「いないいないばあ」

ったようでした。私はこの瞬間、その言葉にならないA君の不安な思いを受け止めていなかったことに気付きました。戻っていきま

## 共感から始まる信頼関係

表情や仕草で一生懸命伝えようとしているその思いに気付く、共感を大切に保育していくことが、子どもたちとの信頼関係を築くことにつながります。実践の中で再確認することができました。まさに人間関係を築いていく上での基礎が、0歳児のこの時期から始まっていると感じます。これからも子どもたちの思いを丁寧に読み取りながら、共感の瞬間を大切に保育していきたいと思

## vol.15 コナンライセンス だまひ

### 飲酒運転で 全てを失わないで!

昨年9月に青森県で、飲酒して制限速度を数十キロ上回る猛スピードで走行中、前方の車に追突(2人死亡)し、その後さらに対向車線の車に正面衝突(2人死亡)という悲惨な事故が発生しました。加害者の車には、飲酒運転を知らずながら2人が同乗していたという事です。

事故後しばらくしてから、被害者の遺族は「今でも心の整理がつかず、毎日涙が出る。飲酒運転による悲惨な事故がなくなることを祈っている」と悲痛な思いを訴えています。さて、残念ながら本年度も本県教員の飲酒運転が発生しています。

飲酒運転で失うものは計り知れません。事故や検挙に至れば、仕事、家庭、友人を失い、罪を償う人生が待っています。1月は、先月に引き続き飲酒運転根絶取組強化期間です。今年こそ絶対に飲酒運転の根絶を、教育界を挙げて実現しなくてはなりません。一人一人が気を引き締めて、新年をスタートさせましょう。



【教育総務課】

# 静岡県教育委員会表彰式を開催しました!

県教育委員会では、教育の振興に貢献した方や、スポーツ、学問等の各分野で全国規模の大会などに出場し、優勝又は最高位を受賞した個人・団体の功績をたたえるため、「静岡県教育委員会表彰」を実施しています。

今年度は、個人・団体を合わせて40組が受賞し、11月14日(水)に県庁で表彰式を開催しました。

受賞者を代表してあいさつした、静岡サレジオ高校の根上葵さんは、「私たちは、これから益々力を伸ばす年代となっていくと思います。受賞者一同、本日の受賞を励みとし、さらに研さんを積んでまいります」と、真剣なまなざしで語りました。

また、表彰式に引き続き行われた懇談会では、参加者らが、活動に向けた思いやうれしかったこと、苦労話や今後の抱負などを語り合い、楽しい時間を過ごしました。

## 地域での学習支援に貢献された方を表彰

県内には、さまざまな体験活動や交流活動を実施し、子どもたちが地域社会の中で健やかに育まれる環境づくりに貢献している方々がいます。

今回の受賞では、長年にわたり地域児童へ向けた学習支援活動を続け、教育の振興に貢献された方(1人)を表彰しました。



小学生に箏(そう)や三味線の演奏指導をする日吉さん

## 各種全国大会で県内の児童生徒が大活躍

東海地区で行われた高校総体や全国中学校体育大会といったスポーツ分野だけでなく、弁論大会や新聞紙面コンクール、研究成果発表大会などの文化・学問分野でも、多くの子どもたちが輝かしい成績を取っています。その中でも、大会で最も優秀な成績を取った児童生徒(個人19、団体20)を表彰しました。



高校総体水泳競技において200m及び400mメドレーで優勝した松本さん

今年度表彰された皆様を教育総務課のホームページで紹介しています。

HP <http://www.pref.shizuoka.jp/kyouiku/kk-010/iinkai-hyoushou.html>



【教育総務課】

# 熊本県震災復興調査

東日本大震災以降、県教育委員会では、岩手県、福島県に職員を派遣し、被災地の復興調査に協力してきました。

今年度は、熊本地震の復興事業に伴い、熊本県で埋蔵文化財発掘調査を行っています。

## 火と水の国 くまもとの現状

熊本県では平成28年4月、観測史上初となる「震度7」の地震が28時間以内に2回発生し、住宅は、18万棟以上にのぼる甚大な被害を受けました。現在も4万人近くの人たちが仮設住宅などの仮住まいで避難生活を送り、住まいの再建が課題となっています。



復旧が進む熊本城

## がんばるけんくまもとけん

地震以降、熊本県では、「熊本復旧・復興4ヵ年戦略」を策定し、その主要施策の一つに「くまもとの誇りの回復と宝の継承」を掲げています。熊本城や装飾古墳を始めとした指定文化財はもちろんのこと、民間寄付金をもとにした文化財復旧復興基金を活用し、未指定文化財を含めた被災文化財の復旧を進めています。

県民生活に関わるものについては「創造的復興」のスローガンのもと、各種の開発事業が数多く実施されています。

## 埋蔵文化財発掘調査



発掘調査の様子

熊本の被災地における生活拠点の整備、国道の復旧ルート建設事業に伴い、埋蔵文化財発掘調査を行っています。

昨年度の調査では国道の復旧ルートにおいて、江戸時代の豊後(ぶんご)街道の一部(加藤清正公が造った道路)が見つかり、注目を浴びました。

今年度以降は、地震による住宅被害が最も深刻な益城町(ましきまち)の復興関連の大規模調査を多く控えています。

## 埋蔵文化財のチカラ

埋蔵文化財からはその土地の成り立ち、歴史を知ることができます。自分たちの住む地域の歴史を新たに知ることは、驚きや感動を生み、地域の誇りを再認識することができます。熊本の創造的復興と埋蔵文化財保護の両立のために、他県からの派遣職員と連携・協力して力を尽くしたいと思います。

【文化財保護課】

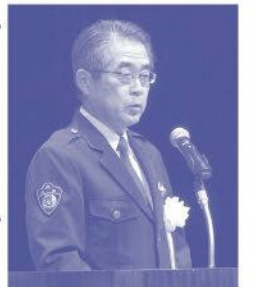
# 「育てよう!未来を拓く有徳の人」

～地域の子供は地域の大人が育てる～

県では、11月を「子供・若者育成支援強調月間」と定めています。11月23日には、県民の皆さんに「地域の子供や若者のためにできること」を考え、行動するきっかけとなるよう、県と小山町が共同で「子供・若者育成支援強調月間静岡県大会in小山町」を開催しました。当日の参加者は700人を超え、盛大な大会となりました。

## 子供の性被害防止に向けた共同メッセージの発表

県内の子供や若者が性犯罪に巻き込まれることなく、安全で安心な生活が送れるように、県警察本部の鈴木剛生活安全部少年課長より、「知らない人についていかない」「嫌なことをされたら、すぐに親か学校の先生に言う」「インターネットの利用に注意」の3点を、県教育委員会等との共同メッセージとして発表しました。



共同メッセージの発表 鈴木剛生活安全部少年課長

また、インターネットに起因する性被害の防止に向けて、「フィルタリングを利用する!」「自撮り」をしない!送らない!」「ネットで知り合った人と会わない!」の3点を周知する啓発標語「しずおかポリス“ふじネット”」の紹介を行いました。

## 【青少年団体等の顕彰】表彰式

静岡県青少年育成会議では、県内各地で地道な地域貢献活動を続けている、個人及び団体の功績を称え、広く県民の皆さんに紹介するとともに、今後の励みとなるよう、毎年表彰を行っています。本年度は、青少年の部3人、青少年指導者の部5人、青少年団体の部5団体を表彰しました。



【青少年団体等の顕彰】表彰式

また、続いて行われた小山町教育委員会感謝状贈呈式では、小山町の教育行政に尽力した方6人、1団体が表彰を受けました。

## 【ゴルゴ松本さんによる基調講演「命の授業」

大会の後半は、お笑いコンビTIMのゴルゴ松本さんを講師に招いて、「命の授業」を演題に、講演会を開催しました。



基調講演「命の授業」講師:ゴルゴ松本さん

ゴルゴ松本さんは、2011年から少年院等を訪問し、ボランティアで講演活動に取り組んでいます。また、その功績から、2014年には法務省東京矯正管区から表彰を受けています。当日は、漢字の話や歴史の話などを中心に、ホワイトボードを使用して分かりやすく説明をしたり、ステージを降りて会場の参加者と対話をしたりと、笑いを交えながら「命」「言葉」「人生」「日本人」をテーマに、魂のこもった熱い授業を展開されました。

大会に参加された方が、それぞれの立場でかけがえのない「命」について考える機会となりました。【社会教育課】

# 民間企業で得た気づきを教育現場へ

～民間企業派遣研修者レポート～

毎年、複数の教員が実践的な技術や、企業が求める人材を直に感じ、教育現場へ還元するため、民間企業で研修を行っています。今回は静岡新聞社・静岡放送営業局事業部で1年間研修している駿河総合高等学校の大川慎介教諭が研修の様子を報告してくれました。

## ファンになってもらうために!

街を歩いていて、ふとポスターが目にとまる。何気なく見てみるとちょっとおもしろ。「このイベント行ってみようかな」。今日もどこの街中で普通に起こっているかもしれない出来事ですね。営業局事業部では、このイベントのコンテンツを決めるところから始まり、会場探し、会場のレイアウトから集客手段の検討、Webサービスの展開、予算の管理、そして当日は出展者や講演者などの誘導...と、あらゆることを協賛企業、運営会社、社内関連部局と協力しながら行っています。



営業局事業部にて

## 成功者=知的欲求が高い人!

仕事柄、本当に多くの方との出会いに恵まれます。その出会いを通して、仕事で成功しているな、と感じる方に共通して言えることは、新しい知識や知らないことに触れると興奮するのです。さらに、会話内のフレーズについて、どんどん自分で検索していき、知識を広げていきます。自ら学び、分かなければ教を乞う、といった姿勢の重要性をリアルに学びました。

## 「知っている」を広げよう!

新聞の活用はもちろんのこと、意外に!?知られていないのが、学校にも各社の英知を凝縮した告知物や冊子などが配布されています。例えば静岡新聞社・静岡放送では「futureしずおか」という静岡で働く人たちのリアルから、静岡の魅力発信をしています。「futureしずおか」は県内高校2年生に無料配布されており、将来を考える上でとても参考になります。ビジネス同様意外なところに日頃の疑問へのヒントが隠されているかもしれません。学びの場にリアリティを感じさせることができるよう、生徒の成長につながる場を多彩に提供していけるよう努めたいと思います。私への自戒を込め、「Better than Before」としての教育実践を高められるよう、残りの研修に精進していきます。



【futureしずおか】打ち合わせ

【教育政策課】

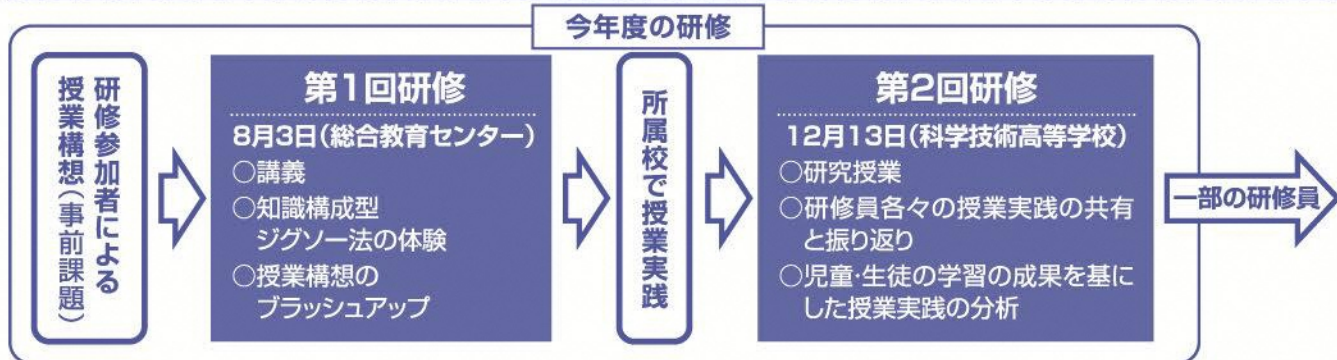


# 静岡大学教職大学院との共催研修がスタートしました! 「学習科学の考え方を生かした学びの計画・実践」

県教育委員会と大学の協働による研修として、希望研修「学習科学の考え方を生かした学びの計画・実践」(第1回、第2回)を、静岡大学教職大学院と総合教育センターの共催で実施しました。「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業の構想力・実践力を高めるために、静岡大学等の講師陣による学習科学等の最新の知見に触れながら、「知識構成型ジグソー法」(\*)の授業を構想しました。また、所属校での授業実践における児童・生徒の「あらわれ」をもとに授業実践の分析を行いました。



研修の様子



## 静岡大学での研修

2月実施予定

総合教育センターの希望研修では、研修員(現職教員)と学生が交流する「初めて」の取り組みです。研修員は学生と「協働的な学び」を展開します。静岡大学と総合教育センターが、児童・生徒の理想の学びを追求する「実践コミュニティ」の起点となります。

※東京大学CoREFが開発した協調的な学習方法

センターは「学び続ける教職員とこれからの学校」を応援します!!

静岡県総合教育センター 検索



# 平成30年度研究報告会を開催します ～総合教育センターにおける研究の最新状況をつかむチャンス～



総合教育センターは、教育に関する課題について、実践的な研究を行い、その成果を学校等に還元しています。理論化された研究成果の中に、実践のヒントが見つかるかもしれません。(※対象…県内教職員、教育委員会関係者)

日時	平成31年2月22日(金) 13時30分から16時20分まで			
場所	静岡県総合教育センター(掛川市富部456番地)			
13:15	13:30	15:30	15:40	16:20
受付	開会行事(挨拶・連絡) 全体発表Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	分科会A 分科会B 分科会C		

全体発表

I	教員の資質能力の向上のための研修体系開発に関する研究	研修体系開発プロジェクトチーム
II	新学習指導要領対応授業力向上研修の実施及び改善充実に向けた研究	アクティブ・ラーニングプロジェクトチーム
III	発達障害を対象とした通級指導教室担当者の指導力向上に役立つスタートブックの検討	特別支援課

分科会

A	新学習指導要領に向けた教科固有の「見方・考え方」を働かせた「深い学び」の授業改善に関する研究～子供の姿の「見える化」を重点として～	小中学校支援課
B	新学習指導要領に対応した特別支援学校における授業改善に関する研究	特別支援課
C	不登校の相談事例の分析から見える「未然防止」「早期発見・早期対応」についての研究	教育相談課

申込方法 「参加申込書」を電子メールでご提出ください。  
メール centerkensyu@pref.shizuoka.lg.jp

お問合せ先 静岡県総合教育センター生涯学習企画課  
TEL0537(24)9706

詳細はセンターWebページでチェック! → 静岡県総合教育センター 検索

※申込時に、参加する分科会を3つの分科会から1つお選びいただけます。

# 学び続ける教員へ ～参加者募集中～

※申込方法は、下記問い合わせ先まで要連絡

## 野外教育指導者養成講習会

野外活動や学校行事を安全で楽しく実施するために、ナビゲーションスキルとリスクマネジメントを学びましょう。国内外の第一線で活躍されている方々を講師にお招きして、体験的に学ぶことができる講習会です。より安全でダイナミックな活動ができる指導者を目指しましょう!

- 募集期間 平成31年1月31日(木)必着(定員になり次第受付終了)
- 実施日 平成31年2月9日(土)～11日(月・祝)
- 会場 静岡県立朝霧野外活動センター
- 定員 30人
- 費用 8,000円
- 講師 村越 真(静岡大学教育学部教授)  
中村正雄(大東文化大学スポーツ・健康科学部教授)
- 問い合わせ先 静岡県立朝霧野外活動センター  
(指定管理者:日本キャンプ協会グループ) TEL0544(52)0321

## 平成30年度第2回高校教員のための「けんせつの仕事」勉強会

県内高校教員向けに、建設業に対する理解を深め、進路指導等に役立てていただくための勉強会を開催します。勉強会では建設業経営者や若手技術者による講話、座談会を行います。(この勉強会は平成27年度から毎年度開催しており、参加者からは「業界への就職や現場監督としてのキャリア、資格など、非常に参考となった」と好評です。)

- 募集期間 平成31年1月31日(木)まで
- 実施日 平成31年2月13日(水)13時30分～16時
- 会場 静岡県建設業会館4階会議室(静岡市葵区御幸町9-9)
- 定員 静岡県内高校教員25人程度(専門高校教員、普通高校教員問わず参加可)  
※研修内容については高校教員向けですが、建設業への就職について理解を深めたい中学校教員も参加可能です。
- 費用 無料
- 問い合わせ先 交通基盤部建設業課  
申込先 TEL054(221)3057 FAX054(221)3562  
メール kensetsugyou@pref.shizuoka.lg.jp

広告

地元企業認知 × 関心向上プログラム

# 浜松・夢★企業・検定



30点以上コース  
図書カード  
3,000円分  
×30名様

50点以上コース  
Amazonギフト券  
5,000円分  
×30名様

100点以上コース  
JTB旅行券  
50,000円分  
×3名様

## クイズと会社見学で就活研究して豪華景品をもらっちゃおう!

**Research (クイズ)コース** 全問正解で55ポイント

浜松市内の優良企業55社に関するクイズにチャレンジ!  
企業のホームページから答えを探して4択クイズに答えると1問正解ごとに1ポイント。

実施期間 2018年11月23日(金)～2019年2月22日(金)

何回でもチャレンジ可!

今すぐ、スマートフォンでクイズに答えよう! ▶▶▶

**Action (会社見学)コース** 1社見学で50ポイント

厳選された37社の中から、見たい! 知りたい! 興味ある! 会社をチョイス!  
1社会社見学すると50点! 2社見学で100点!

実施期間 2018年12月下旬～2019年2月下旬

何社でも訪問可!

今すぐ、スマートフォンで会社見学に申し込みよう! ▶▶▶

お問い合わせ 浜松商工会議所 人材支援室 〒432-8036 静岡県浜松市中区東伊場2-7-1 TEL:053-452-2861 担当:鈴木